

川越商工会議所
青年部会報誌
第5号
平成21年2月25日発行



KAWAGOE
青年部

川越商工会議所青年部は、平成18年(2006年)5月29日設立。川越に集う青年経済人に「互いの知性や感性を磨き合い、新たな発想や活力を生み出す場」を提供することを目的とし、次代の川越商工会議所と川越市経済界、そして埼玉県西部地域の更なる発展を推進していくことを念頭に活動しています。

かねのね
鐘の音

第12回交流会報告 「川越の伝統文化を学ぶ」



ご講演中の根岸館長様

懇親会の様子

新入部員：行政書士山岡正典事務所



行政書士山岡正典事務所の山岡さん

皆様はじめまして。行政書士山岡正典事務所所長の山岡正典と申します。
当事務所は、南文化会館（ジョイフル）のすぐ近くに平成16年に開業致しました。

主たる業務としては、各種許認可、特に建設業関係、農地転用関係、医療法人関係、及び遺言・相続等です。

私の一番のモットーは、「一所懸命」です。そして、明るく楽しく仕事をさせて頂いています。

今般、皆様のお仲間に加えて頂き、心より嬉しく思っています。少しでも皆様のお役に立てる様、そして、何より川越の役に立てる様努力していく所存です。

どうぞ宜しくお願い致します。

お知らせ：青年部のブログが新設されます！URL http://blogs.yahoo.co.jp/kawagoe_cciyg

青年部の1年間の活動を振り返って



第8回交流会(西部地区担当)

第9回交流会(南部地区担当)

第10回交流会(東部地区担当)

第11回交流会(北部地区担当)

「温故創新～若手社員と
第3の創業に挑む」

ホッピービバレッジ株副社長
石渡美奈様をお招きしてご講演いただきました。

4月25日/会場：東京国際大学

「和の文化に魅せられて
～将来の川越文化のための
感性のアンテナを張ろう～」

3人芸妓と山崎副会頭との対話形式にて、芸妓文化と八王子花柳界の現状をお話いただきました。

6月24日/会場：初音屋

「ボウリング大会」

新狭山グランドボウルにて、70名を越える多くの部員の参加をもって賑やかに開催することができました。

9月3日/会場：新狭山グランドボウル

「『感動の一瞬』
～サッカーから
のメッセージ」

大宮アルディージャのトータルアドバイザー清雲栄純様をお招きしてご講演いただきました。

10月23日/会場：氷川会館

第12回交流会は12月9日に川越まつり会館と料亭山屋で開催されました。

川越まつりは毎年10月の第三土、日曜日に開催される今や関東を代表するお祭りです。今年は天候に恵まれ117万人の来訪者がありました。今回交流会会場として伺った川越まつり会館は、そんな川越まつりの様子を一年中体験できる施設です。展示室には入り口からは想像もできないほどの大空間が広がっており、実物の山車が入れ替わりで常時二台展示しております。休日には、川越まつり囃子の実演を見ることもできます。青年部会員は川越で活躍している方々ですが、灯台下暗しと言うように個人ではなくなかなか訪問する機会がないので、今回の交流会では多くの会員が参加されました。

会場では山車を見学し、ビデオ上映で川越まつりの歴史や祭りの様子を視聴して、最後に同館の根岸館長より祭りの解説とともに、経営者である会員たちのために川越まつり会館の運営の方法や財務的内容について御講演をいただきました。参加会員が興味深く聞き入っていました。川越を母体に活動する会員にとって益々川越まつりに対する造詣と観光開発に対する理解が深まったことだと思います。

その後、会場を料亭山屋に移し定例会および懇親会を開催しました。料亭山屋は川越を代表する老舗料亭であり、青年部の会員はここでの例会開催をいつも楽しみにしています。今回は82名が参加し武蔵野の風趣豊かな庭園の趣と素晴らしいお料理を堪能しながら、お互いの親睦を深めました。参加者は積極的に席を移動し色々な方々と挨拶を交わしたり、知合い同士で新たな仲間を紹介しあったりしながら、親睦を深めるだけではなく情報交換やビジネスの話を熱心にしていました。

川越商工会議所青年部は、地元企業のみならず川越に支店を置く上場企業の方々が多く参加されています。そのような会員の皆様にとって今回も交流会は川越をより深く理解し、川越の良さを味わうための大変良い機会になったことでしょう。（記事 西部地区担当 八木幹事）

編集後記：暦の上では春になりましたが、二月は一年で一番寒い時期です。寒いといえば、今年もインフルエンザが流行していますね。私も毎年この時期はインフルエンザにかかるないように外出後の手洗い・うがいは欠かさないようにして、外ではマスクをするようにしています。最近は予防のためかマスクをしている人をよく見かけますが、皆さん使い捨てマスクをしているようです。いつ頃からこんなに使い捨てマスクが流行ってきたのでしょうか。特に最近はメガネが曇らないものや、お化粧が崩れにくいものや、かわいいピンク色のものなど種類がたくさん出ていて、いつも買う時は迷ってしまいます。進化を続ける使い捨てマスク！今後は一体どんなマスクが出てくるのでしょうか。本当に春までもうすこし、寒さに負けず元気に過ごしたいですね。

青年部情報発信室 大原